

審議会等会議録

審議会等の名称	平成18年度 第3回山口市環境審議会
開催日時	平成19年 3月19日(月曜日) 14:00 ~ 14:30
開催場所	山口県婦人教育文化会館3階 第4研修室
公開・部分公開の区分	公開
出席者	中西会長、伊原委員、糸原委員、上重委員、遠藤委員、岡本委員、中川委員、藤原委員、船越委員、前田(哲)委員、前田(幸)委員、山本委員 (12人)
欠席者	奥山委員、水津委員、渡辺委員 (3人)
事務局	環境部：上野部長、坂理事、勝屋理事、益本次長、 環境保全課：石津課長、山根主幹、田中主査、富永主査、杉山主事 日本水工設計(株)：今井課長、宮崎主任 (11人)
議題	1. 山口市にふさわしい環境への負荷が少ない一般廃棄物最終処分場の施設・設備について(答申案) 2. その他
内容	<p>配付資料に沿って事務局より説明の後、審議が行われた。</p> <p>■委員からの主な質問、意見等</p> <p>●部会の方で進めてきた結果、このような形になっているが、難しい側面があった。例えば、設置場所を検討する場合には、海岸近くや山間部における仮想の場所を想定して具体化していかないと難しいという意見もあった。また、浸出水の重金属問題、補足意見ということで入れているが、将来に渡って予測が困難なこと等については大学や研究機関にお願いしてデータ整理やデータ収集をして行こうなどの様々な意見が出た結果がこうした答申案となっている。</p> <p>前回のものより文面が削除されたり、新しく付け加えられたものもあるが、そのような側面も加えた結果、このような答申案となっている。</p> <p>●答申案にすぐにどうこうということはないかもしれないが、今後、特に考えなければならないのは、住民に対する啓蒙活動。これから環境に関して厳しい意見や不安感などが住民の間に出てくるのではないかと予想されるので、住民に対する啓蒙活動というのはかなり必要になってくるかと思う。</p> <p>また、今後は(中間処理施設の設置に伴い)埋立物の組成が大きく変化することが予想されているが、それと併せて技術革新も当然進むと思う。この技術革新に併せて埋立物も変化すると思われるので、視野に入れておく必要があると思う。</p> <p>●施設自体をどこに置くかということここでは審議していないが、どこに置いても皆さんの御理解は頂けるという形で答申を取りまとめて頂いているということで、審議会としてもそのような心づもりでいる。この答申案自体が、国が定め</p>

	<p>た廃棄物最終処分場の構造基準や廃棄物最終処分場性能指針に基づいており、そのうえに立って、さらにクローズド型の処分場、あるいは地下水の集排水施設、発生ガスを大気放散することや跡地利用、市民・事業者・行政の協働などを追加してあげていただいている。</p> <p>●〈会長〉 それでは、本日頂いた「山口市にふさわしい環境への負荷が少ない一般廃棄物最終処分場の施設・設備について」の答申案はこれでよろしいか。</p> <p>－各委員とも異議なし。－</p> <p>●〈会長〉 最終的な答申は私と事務局で相談をして作らせて頂く。実質的には追加することもないのでそのままということになるかと思う。答申は日程調整して、3月末日までに私から市長への答申書ということで提出し、委員の皆様にも最終答申書の写しを送付させていただきたいと思っているがよろしいか。</p> <p>－各委員とも異議なし。－</p>
<p>会議資料</p>	<p>1. 第3回山口市環境審議会次第及び席次</p> <p>2. 第3回山口市環境審議会配付資料</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>環境部 環境保全課 環境企画担当</p> <p>TEL 083-941-2180</p>